

現代文 A 休業中の課題 (4/20 発信 5/6 までの課題)

P 138 ～ 142 「せくらくせくらくせくらく」(俵万智)の文章をよく読み、次の問題(4ページ分)に答えなさい。

★解答は、PDF ファイルを印刷し、それに書き込むこと。  
 (コピーでも印刷できます)。  
 ★提出は、最初の授業。用紙の左上端をホチキスで留めて提出。

★授業開始後、答え合わせをした後、「この」せくらくせくらくせくらくの内容について、課題テストを行う予定です。しっかり勉強しておきましょう。

二年 組 番氏名
----------

◆漢字・言葉◆

- ① 次の傍線部の仮名を漢字に直しなさい。
- (1) 結婚式を**あひら**る ( ) げる  
 てんぐらを**あひら**る ( ) げる  
 棚に**あひら**る ( ) げる  
 (2) 音楽を**かんしやう**する ( ) げる  
 植物を**かんしやう**する ( ) げる  
 他人に**かんしやう**する ( ) げる  
 試合で**かんしやう**する ( ) げる

- ② 次の傍線部のカタカナは漢字になおし、漢字には読みを記しなさい。
- (1) **オタ**やか ( ) やか  
 穏当な意見 ( ) げる  
 (2) 新聞で**ホウドウ**される ( ) げる  
 恩に報**かへ**る ( ) げる  
 (3) **ウスギ**タカイ部屋 ( ) い  
 大気汚染の調査 ( ) げる  
 (4) **ホウトウ**でも触れたように ( ) げる  
 危険を冒**あ**す ( ) す  
 (5) **スナ**に知らされている ( ) こ  
 既知の情報 ( ) げる  
 (6) **ハゲ**まされる ( ) まねる  
 研究を奨励**すす**める ( ) げる

② 「不可思議」「不可」「不可」が頭(し)の語をみなみ(み)る。(辞書で調べてください)



6 「日本画家にとっての富士山のようなもの」(一四二・一)について、次の問いに答えよ。

(1) 「日本画家」「富士山」は何をたどえたものか。本文中の言葉で言い換えよ。

日本画家→「」「」  
富士山→「」「」

(2) どのようなことを言っているか。次の中から適当なものを一つ選べ。

ア 歌人にとって桜は、数ある花の中でも別格の存在であるため、後世に残る名歌を詠みたいと思わせられるところじやう。

イ 歌人にとって桜は、古来から日本人と密接な関わりがあるため、既に優れた歌が多く詠まれており、手ごわい題材であるところじやう。

ウ 歌人にとって桜は、富士山に匹敵するほど日本人には身近な存在であり、誰にとっても分かりやすい題材であるところじやう。

エ 歌人にとって桜は、別格の花で創作意欲をかき立てられるものだが、名歌も多かったため簡単には詠めないところじやう。

「」

7 「芝居を見終わった時の感覚」(一四二・11)とあるが、どのような感覚だと思われるか。その説明として適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア 虚構の世界から強制的に現実の世界に引き戻されるような感覚。

イ 総合芸術の奥深さを目の当たりにした後の酔いしれるような感覚。

ウ 没入していた世界から急に現実に戻り、我に戻るような感覚。

エ 役者の迫真の演技を味わった後の、充実した満足を覚える感覚。

「」

◆まとめ

□ 次の図は、本文の文章構成を整理したものである。空欄に当てはまる適当な言葉を、本文中から抜き出せ。

第一段「初め〜三三八・七」

「①」 「人にとって桜は、花として」 「②」 「で、」 「③」 「そのものが果てしない広がりを持った、まことに不可思議なものと筆者はきえつてくる。」

↔ 第一段と第二段は対比関係にある。

第二段「三三八・八〜三四一・12」

「④」 「人は、日本人独特の桜に対する思い入れが理解できない、という筆者の体験を述べながら、桜について次のような結論に至る。」

・桜というのは、花だけを取り出して「⑤」 「ものではなごのこともいえない。」  
・桜の咲くところ「⑥」 「じゅう、そつて」 「⑦」 「じゅう」 「⑧」 「」  
とこの舞台の全てを含めて桜なのだということ気がつてくる。

第三段「三四一・13〜終わり」

古来から続く歌と桜の関係に思いをよせ、三つの自作歌を提示し、自身の桜への思いを語る。